



全国読売防犯協会(略称:Y防協)では、2006年(平成18年)6月から事件・事故に子ども・女性・高齢者の方々が巻き込まれないようにセミナーを開催してきました。

簡単に紹介いたしますと、小学生の保護者に集まっていただくなどして家庭での防犯教育の大切さを訴えたり、幼稚園児、小・中・高校生、教職員、地域のボランティアのみなさんを対象としたセミナーも開いています。

ちなみに2013年(平成25年)1月から12月までの1年間で103回の防犯セミナーを開催しました。

聴講者数は、児童、生徒、保護者など3万5804人に達しました。

Y防協は、2014年(平成26年)以降も地域の安心・安全のため、みなさんのお近くにあるYC(読売新聞販売店)とともに、防犯活動に全力を傾注してまいります。ご支援、よろしくお願い申し上げます。



北海道読売防犯協会

2月22日、札幌市手稲区の星置地区センターで『安全・安心どさんご運動』ネットワーク交流会 in 星置が開かれました。参加したのは、地区のお年寄りなど50人。

会場では、全国読売防犯協会講師・伊藤善彬さんが腹話術人形を使って〈振り込め詐欺対策〉を熱演。「電話で『オレオレ』と言われたら、相手が誰なのか落ち着いて考えましょう。そして、『あなたのお名前は?』と質問してみてください。また、長電話をしないことも嘘を見破る一つの方法です」と、詐欺に遭わない術を披露。講演の最後には、「おかしいと思ったら、警察に相談を」——と、即興の歌を交えながら注意を促しました。参加者らは、伊藤講師と人形との珍妙な掛け合いに大笑いしていました。



東京読売防犯協会

携帯電話やインターネットの安全な使用法を学ぶ「ケータイ・ネット上のいじめと犯罪について」の防犯セミナーが4月9日、東京都板橋区の私立中学・高校で行われ、同校の新入生400人と教職員ら20人が聴講しました。

会場では、全国読売防犯協会講師・菅野泰彦さんが被害実例を再現したビデオを使い、携帯電話、スマートフォン、インターネットに潜む危険性につき解説しました。菅野講師は、「みんながやっているからという安易な気持ちでサイトに登録すると、自分のこと(個人情報)が筒抜けになって詐欺に遭ったり、怖い目にあったりすることがある。特に金銭を必要とするゲームなどのサイトについては、親に相談しながら、携帯電話などの通信機器の使用ルールを決めること」とアドバイスし、「安全で楽しい学生生活を送ってほしい」と、講演を締めくくりました。



大阪読売防犯協会

大阪読売防犯協会では、大阪府警が提唱している子どもを守る『5つの約束』の防犯ぬり絵を作成しています。

4月26日、大阪府羽曳野市立西浦幼稚園で防犯セミナーが実施され、園児・保護者約150人が参加しました。

当日は、同府警本部生活安全指導班が不審者から声を掛けられた場合の対応要領を、不審者役の着ぐるみ人形を用いて実演し、『5つの約束』について指導しました。園児は、不審者役の着ぐるみが警察官を逃れて隠れようとする、「あっち!あっち!」と知らせるなど、元気いっぱいでした。